

プラスチックごみについて考えよう

(ものとエネルギーを大切に作る循環のまちづくり「循環型社会」)

町内の環境を守るために、毎月1日号に環境に関する記事を掲載します。



●問い合わせ 環境課 内線 282

プラスチックごみの削減は、ごみ減量を進めていくためにとても重要であり、最近話題にもなっています。今回はプラスチックごみの削減について考えてみよう。

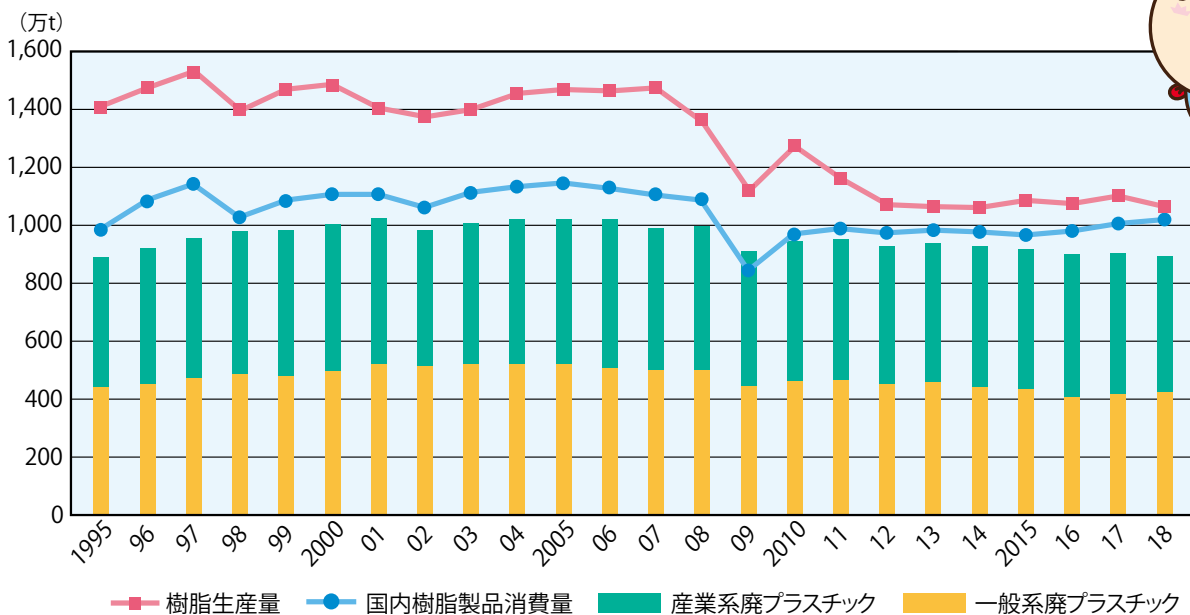
プラスチックは、私たちの生活には欠かせない便利なもの

食品を包むラップ、コップやストロー、洗剤や化粧品の容器など、身の回りの多くのものにプラスチックが使われています。プラスチックは軽くて丈夫、価格も安いのでとても便利です。

長く使われる物もありますが、容器や包装材などは、使い捨てのものも多くあります。



プラスチックの生産量と排出量



引用：プラスチックリサイクルの基礎知識2020 (グラフ出典：(一社)プラスチック循環利用協会)

生産されるプラスチック(樹脂生産量)は、年間約1,000万t余りである中で、処分されるプラスチック(廃プラスチック)量が約900万tとなっています。

語句の説明

- ・循環型社会…なるべくごみを出さず、できるだけ資源として使い、どうしても使えないごみはきちんと処分することで、大切な資源を有効に活用して環境への負荷をできるかぎり低減される社会のこと。



なぜプラスチックが問題？

大きくわけて3つの問題点があります。

- ①原料は石油であり、限りある化石資源を使用していること
- ②製造や処分の際に温室効果ガスが排出され、地球温暖化に影響を及ぼしていること
- ③海洋プラスチックごみが大きな問題となっていること

プラスチックは、時間が経過しても自然に戻ることはありません。海へ流れると海岸の漂着ごみになります。最近では、歯磨き粉や洗顔料に使用されるスクラブやマイクロビーズ、小さく砕かれて細分化したマイクロプラスチック(5mm以下のプラスチック)が、魚などの海産物を通じて人体に影響を与えることも懸念されています。

クジラがエサとまちがえて、プラスチックごみを食べてしまい、お腹からたくさんのプラスチックごみが見つかったニュースもあったね!



SDGsの達成



はじまっています プラスチックごみ削減の取組み

レジ袋有料化も削減の第一歩!

レジ袋の有料化は、プラスチックごみの削減の一環としてはじまりました。マイバッグを持参したり、レジ袋を繰り返し使ったりすることを習慣化しましょう。

また、カフェなどで、飲み物のカップやストローがプラスチックではなくなるなど、企業の取組みも進んでいます。

町の取組み

小売店と町が協定を結び、レジ袋の削減を推進。また、削減の実績を町ホームページで公表。
詳しくは環境課へ



産業まつりの来場者へマイバッグの利用を促進。
詳しくは商工振興課へ
※令和2年度は中止
商工振興課
(勤労福祉会館内)
☎83-6118



あいちプラスチックごみゼロ宣言

～捨てない・減らそう・変(替)えよう!

アクションプラごみゼロ!～

愛知県はプラスチック製品の出荷額が全国第1位であり、プラスチックの製造や利用に深いかわりを持っています。愛知の豊かな環境を未来の子どもたちに引き継ぐため、住民、事業者、行政が一体となって、プラスチックごみを減らす行動をしていきましょう。



みなさんに3つのお願い!

- ①ごみは持ち帰り、回収ルールに従って処分する
※町では、ペットボトル、プラスチック製容器包装は「資源ごみ」、その他のプラスチックは「もえるごみ」として、分別して出してください。
- ②使い捨てでない、繰り返し使える製品(マイボトルなど)を使用する
- ③詰め替え製品やプラスチック代替製品を選択して購入する



プラスチックごみをゼロにして、地域の環境を持続的に守っていこう

東浦町
環境基本計画
実施計画

